

YAKUDOU

躍動

第65号

(財) 静岡市体協だより



[特集]

スポーツ講演会

『夢への挑戦、そして実現へ』

講師：桑田真澄 氏

[特別企画]

桑田真澄さんへの
インタビュー!!

平成23年度 財団法人静岡市体育協会表彰

功労章・優秀指導者章・優秀選手章・優秀団体章

平成24年2月22日(水)、ホテルセンチュリーにおいて、平成23年度当協会表彰式が行われました。

受賞された方々は、以下のとおりです。おめでとうございます。

功労章

11名

松田 益也

静岡市弓道連盟



平成17年、旧静岡市と清水市の合併に際し、清水市の弓道連合会代表として合併協議会に参加し、新しい静岡市弓道連盟の発足、順調な運営に貢献した。

現在は、市連盟の会長として規約の改正や、施設の充実に鋭意努力しており、今後は更に、より優れた指導者、選手の育成を目指している。

平井 健司

静岡市剣道連盟



長年に渡り、杖道を通じて地域社会の人材育成に貢献している。『攻撃を主とせず、相手の攻撃に応じて変化し制圧する』という指導精神を本旨とし、『精神の修行と身体の鍛錬を第一』と考え日々精進に努め、指導においてもその精神を実践している。

人格、見識に優れ、温厚な人柄で誰からも尊敬されている人物である。

鈴木 正昭

静岡市山岳連盟



山岳連盟主催のハイキングスクールでは、講師として多くの登山愛好家、一般ハイカーを指導し安全登山指導に積極的に取り組む。

円満な人柄、豊富な知識に裏打ちされた優れた登山技術、指導力、卓越した組織運営力は会員全てが認める所であり、何事にも意欲的に取り組む姿勢は、会員の模範である。

納谷 義郎

静岡市サッカー協会



社会人チームでプレーしながら小中学生の指導を始め、城内フットボールクラブを現在まで42周年に渡り指導している。また、学校体育全盛の時代にいち早く将来のサッカー界の姿を予測し、日本もいずれ国際化・プロ化することを察知し行動に移していた。

多くのJリーガーを輩出し、現在は体協の理事として手腕を振るっている。

田中 秀幸

静岡市柔道連盟



昭和42年、静岡大学に奉職し、柔道部の部長、師範を務め文武両道の精神を貫き、有為な人材の育成に尽力する。また、全日本柔道連盟教育普及委員、文部省高等学校教育資格認定委員、日本武道学会理事などの役職に精力を注いだ。平成20年、市柔道連盟会長となり、体育・スポーツの普及発展に今も汗を流している。

大江 弘文

静岡市相撲連盟



昭和47年に市相撲連盟に指導員として参加し、後輩の育成・指導、相撲競技大会における設営運営を諸先輩から学び、市相撲連盟主管の大会で実績を残す。

静岡市民相撲教室にも早くから参加し、底辺の拡大に力を注ぐなど、連盟の中核としての実績を多数残しており、その功績は大である。

永野 幸三郎

静岡市ソフトテニス協会



清水市ソフトテニス協会会長をはじめ、県連盟等の役員を長きに渡って務め、市スポーツ振興課や市体育協会主催のソフトテニス教室を主導し、ソフトテニスの普及拡大に貢献した。

平成17年の旧静岡市と清水市の体協合併に伴う、ソフトテニス協会の合併に際しても新協会発足にリーダーシップを発揮し、尽力した。

秋山 政行

静岡市テニス協会



昭和59年より静岡市テニス協会主催のテニス教室の指導員として、一般愛好家の指導を通してテニスの普及発展に努めてきた。平成21年からは、市テニス協会理事長として加盟107団体をまとめ、また県協会の理事を務め、県と市のパイプ役にもなっている。

温厚な性格から信頼も厚く、その手腕が期待されている。

森村 謙司

静岡市野球連盟



昭和55年より、静岡市野球連盟競技力向上委員長として学童や中学生から一般社会人を対象に、あらゆる場で熱心な指導を行う。その指導方法は、受講生をはじめ父母及び県内外の指導者からも高い評価を得ている。

現在は、連盟の会長を務めるとともに、野球はもとより広くスポーツの競技力向上、普及発展に貢献している。

小川 巴

静岡市スケート協会



日本スケート連盟の指導員資格を取得後、市のスケート教室で幼児から大人まで指導し、底辺の拡大に尽力する。フィギュアスケートの初級中級クラスの生徒も指導し、中部日本や全国大会で上位入賞する選手を多く輩出する他、指導者のスケート技術の向上にも努めてきた。

温厚な人柄でいつも人が集まり、明るく女性陣のリーダーとして活躍している。

市川 利隆

静岡市体操協会



赴任先の小学校に体操クラブを立ち上げ指導を開始したのを皮切りに、スポーツ少年団の設立、体操大会や交流会、強化練習会を行うなど清水地区のレベルアップに努める。また指導の傍ら、清水市体操協会の設立に貢献、副会長として協会の発展充実に尽力する。現在は監事として協会発展に寄与している。

優秀指導者章

38名

中島 久之

静岡市弓道連盟



幸田 昌之

静岡市弓道連盟



山本 拓二

静岡市剣道連盟



山崎美代子

静岡市山岳連盟



小林 博

静岡市クレ射撃協会



山田 義弘

静岡市サッカー協会



青木 繁行

静岡市サッカー協会



石川 裕章

静岡市柔道連盟



阿部 光好

静岡市柔道連盟



栗田 仁

静岡市水泳協会



秋本佳代子

静岡市水泳協会



渡辺 享

静岡市スキー協会



桜井 通雄

静岡市相撲連盟



石黒 庄司

静岡市ソフトテニス協会



近藤 敦子

静岡市ソフトテニス協会



大石 修身

静岡市テニス協会



橋本 隆司

静岡市テニス協会



山本 輝男

静岡市バスケットボール協会



川村 修

静岡市バスケットボール協会



高山 信幸

静岡市バレーボール協会



高橋 伸 知

静岡市バレーボール協会



市瀬 博 明

静岡市野球連盟



森 田 千 里

静岡市野球連盟



千 田 良 和

静岡市ラグビーフットボール協会



鳥 居 俊 秀

静岡市陸上競技協会



石 上 和 彦

静岡市ソフトボール協会



岩 崎 良 明

静岡市ソフトボール協会



川 崎 清

静岡市スケート協会



杉 山 守 由

静岡市スケート協会



水 鳥 政 弘

静岡市体操協会



杉 山 仁 夫

静岡市体操協会



岩 本 光 平

静岡ラジオ体操連盟



青 島 文 恵

静岡ラジオ体操連盟



川 島 治 雄

静岡市空手道連盟



齋 藤 吉 弘

静岡市バドミントン協会



大 澤 俊 幸

静岡市バドミントン協会



山 田 恵 修

静岡市少林寺拳法協会



杉 山 一 夫

静岡市武術太極拳連盟



優秀選手章

5名



山 中 未 久

静岡市相撲連盟

大会名：第16回全日本女子相撲選手権大会

期 日：平成23年10月2日

会 場：西予市乙亥の里 乙亥会館（愛媛県）

記 録：中量級 優勝



杉 林 り な

静岡市アーチェリー協会

大会名：第66回国民体育大会アーチェリー競技会

期 日：平成23年10月7日～10月9日

会 場：周防大島町陸上競技場（山口県）

記 録：少年女子個人1位



戸 塚 沙 榔

静岡市アーチェリー協会

大会名：第6回全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会

期 日：平成23年6月25日～6月26日

会 場：備前市日生運動公園スポーツ広場（岡山県）

記 録：優勝



原 崎 仁 平
静岡市トランポリン協会

大会名：第39回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会
期 日：平成23年7月28日～7月31日
会 場：上山市体育文化センター（山形県）
記 録：最高難度点賞（第21回世界年齢別大会出場）



市 川 隆 太
静岡市トランポリン協会

大会名：第39回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会
期 日：平成23年7月28日～7月31日
会 場：上山市体育文化センター（山形県）
記 録：最高演技点賞（第21回世界年齢別大会出場）



三 輪 哲 平
静岡市体操協会

大会名：2011全日本ジュニア体操競技選手権大会
期 日：平成23年8月12日～8月13日
会 場：横浜文化体育館（神奈川県）
記 録：Bクラス 個人総合優勝



2010静岡ヤカワカン南壁登山隊

大会名：2010静岡ヤカワカン南壁登山
期 日：平成22年11月7日
会 場：ネパール・ヒマラヤ山脈
記 録：未踏峰初登攀（ヤカワカン6,482m）

〈 隊 長 〉 辻 秀信
〈 隊 員 〉 居山 勲
〈 支援隊員 〉 三浦雅司・西ヶ谷和男・白鳥勝治



清水エスパルスジュニアユース

大会名：adidas CUP 2011
第26回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会
期 日：平成23年8月14日～8月23日
会 場：帯広の森球技場（北海道）他
記 録：優勝

〈 監 督 〉 横山貴之
〈 選 手 〉 GK 山川卓己・望月幸輝・眞田貴永
DF 太田 光・齊藤孝輝・杉本 頼・深澤優太郎・片瀬隆輔・水谷拓磨
岡部歩夢・榊原 春
MF 西澤健太・鈴木翔太・杉山和希・宮本航汰・西田健人・森主麗司・渡邊啓太郎
FW 出口大将・大塚聖磨・北川航也・望月 大・森田一世・井上敬開・白鳥速巳
〈 テクニカルディレクター 〉 加藤慎一郎
〈 コ ー チ 〉 久保山由清・岩下 潤・山下芳紀・掛川 誠
〈 トレーナー 〉 大沼理貴



平成23年度 静岡市功労者表彰受賞者の紹介

平成23年11月23日（祝・水）静岡市役所（静岡庁舎本館）において、表彰式が行われ、以下の方が受賞されました。おめでとうございます。

【教育文化功労章】

教育・学術・美術・工芸・体育その他文化の振興に貢献し、功績顕著な人・団体



岩崎安次

静岡市相撲連盟／前副会長



柳澤 學

静岡市テニス協会／会長



私達が生活をしている中で、いつ何時、救命処置を必要とする場面に遭遇しないとも言い切れません。本来ならば、処置を必要とする事態が起こらないことが一番ですが、万が一の状況に備え、知識として身に付けておくことが重要になってきます。ここでは、簡単ではありますが、心肺蘇生法とAEDの使い方について紹介していきます。

1 意識の確認

倒れている人を発見したら、まず肩を軽く叩きながら、声をかける。反応が見られない場合は、周りに助けを呼び「119番通報」と「AED」の手配を行う。

2・3 気道確保と呼吸の確認

頭部を後ろに引き、あご先を挙げて気道を確保する。そして、傷病者の口や鼻に自分の頬を近づけて、呼吸しているかを確認。

4 人工呼吸

呼吸が確認できれば、回復体位にして様子を見る。呼吸をしていない場合、1回に1秒を目安に人工呼吸を2回実施する。息を吹き込んだ時、胸が上がっているかを確認する。
※省略可能

5 胸骨圧迫と人工呼吸

圧迫部位は「胸の真ん中」、胸骨が4～5cm沈むように、30回圧迫を行う。1分間に100回程度の速さとし、圧迫後の引き上げ時は、手の力を完全に抜く。
胸骨圧迫を30回行ったら、人工呼吸を2回行う。

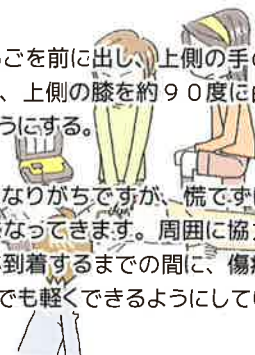
6 AED

AEDが到着したら、傷病者の頭の横あたりに置く。
ケースの蓋をあけ、電源を入れる。音声メッセージが流れるので、それに従って操作を開始する。電極パッドを取り付けるとAEDが心電図の解析を行う。電気ショックが必要になった場合はショックを1回、必要が無いときは、胸骨圧迫と人工呼吸を再開する。

★回復体位とは・・・

横になった状態で、下あごを前に出し、上側の手の甲に顔をのせる。さらに、上側の膝を約90度に曲げて、後ろに倒れないようにする。

非常事態ではパニックになりがちですが、慌てずに対応することが、重要になってきます。周囲に協力を頼むなどし、救急車が到着するまでの間に、傷病者にとっての負担を少しでも軽くできるようにしていきましょう。



第15回 体協 ウォーキング

11月27日(日)に、第15回体協ウォーキングが開催され、島田市千葉山周辺約7Kmを4時間ほどかけて歩きました。

今回は、国の重要文化財に指定されている智満寺から国天然記念物である十本杉まで行くコースと、智満寺から直接どうだん原へ行くコースの2つを設定しました。

当日は、天候にも恵まれ最高の秋晴れのもと、澄んだ空気を味わい、どうだん原では、紅く色づいたどうだんつつじを見ることもできました。

《1. 出発式(中央体育館前)》

受付を終えた後、班ごとに整列し出発式を行いました。
その後、バスに乗り込んで、いざ千葉山へ向け出発です。



《2. 大津農村環境改善センター》

ここでバスを降り、トイレ休憩を済ませた後準備体操を行い、班ごとに出発します。



《3. 尾川丁仏参道～智満寺まで》

尾川丁仏参道の入口から山道を登って行きます。
坂道が続き、また、所々道が狭くなっている箇所もありました。

休日だったこともあり、途中マウンテンバイクに乗っている方や、他の登山者とも出会いました。



《4. 智満寺にて》

ここで1～3班は昼食を取りました。
現在は、15年に1度の茅葺屋根のふき替え時期にあたりますが、だいぶ作業が進み、綺麗になった屋根の一部を見ることができました。ご本尊は千手観世音菩薩で60年に1度、ご開帳が行われるそうです。



《5. 十本杉へ》

智満寺の境内から階段を上って十本杉を目指します。階段を上ってすぐの所には「頼朝杉」と呼ばれる大杉があります。

20分程時間を掛け上に登りました。実に見事な杉を見ることができ、参加者にも喜んでいただくことができました。

苦労して登った甲斐がありました。



《6. どうだん原》

十本杉から降りてしばらく歩くと、どうだんつつじの群生地、どうだん原に出ました。今年は例年に比べると紅葉が遅かったようですが、それでも紅く色づいたどうだんつつじを見ることができました。

ここから、ゴールである伊太和里の湯へ向かいました。



今回は、アップ・ダウンが続き少々大変なコースであったかと思いますが、皆さん、お疲れさまでした。
参加いただいた多くの方々より「楽しかった」「良かったよ」との声をいただきました。今後もより多くの皆さんに参加していただけるような充実した内容を企画していきたいと思います。
当日の運営にご協力いただいた、大津農村環境改善センターの職員の方、伊太和里の湯の職員の方、静岡市山岳連盟の方々に感謝申し上げます。

スポーツ講演会



平成23年10月28日(金)、18時30分よりしずぎんホール「ユーフォニア」にて、元プロ野球選手でメジャーリーグでも活躍をされた桑田真澄さんを講師にお招きし、スポーツ講演会を開催しました。



桑田さんにお話しいただく前に、まずDVDを流しました。

プロ入りしてから現役を引退されるまでの間、嬉しいことや辛く苦しいことなど多くのことを経験されてきましたが、それらをどのように捉え、考え乗り越えてきたのか。スクリーンを通じて、桑田さんの野球にかける強い思いが伝わり、会場は画面に引き込まれるように、シーンと静まり返っていました。

8分程の上映が終わり、いよいよご本人の登場です！桑田さんが舞台に出られた瞬間は、拍手が沸き起こりました。

今回は「夢への挑戦、そして実現へ」をテーマとして、講演をしていただきました。夢を実現させるためには、どうすればよいのか？ご自身の経験を踏まえ、1つ1つ言葉を選びながら穏やかな口調で、時には冗談も交えながらのお話となりました。

高校時代は皆さんもご存じのように、PL学園でピッチャーとして活躍され、清原元選手との「KKコンビ」としても有名でした。しかし、入学当初から全てが順調であった訳ではありませんでした。中学時代の野球は「敵なし」で、走・攻・守の全てにおいて万能な選手であり、念願のPL学園には特待生として迎えられました。まさに前途洋々、自信に満ち溢れていました。しかし、野球部の一員として活動し始めると、その自信はいとも簡単にへし折られてしまいます。自分よりも上手な人は山ほどいて、しかも同期生である清原さんは、体が大きく、打てばホームラン、守備も上手く足も速い。そのパワーに圧倒されてしまいます。彼と比較すればするほど、だんだんと自分にコンプレックスを抱くようになり、完全に自信を無くしてしまいます。念願叶って入った高校も辞めたいと思うようになり「辞めたい」と母親に話をしたこともありました。「辞めても良いよ。」と言ってくれるのではないかと期待をしていましたが、かえてきた言葉は「3年間やり通しなさい。」でした。

そこから、桑田さんの『努力』が始まります。野球が上手くなるための努力《例えば筋肉を付けるための筋力トレーニングやピッチングの練習》は当たり前。これを表の努力と言うなら、裏の努力に励みました。トイレ掃除や、グラウンドのゴミ拾い、草取り、靴の整理整頓などです。これらをやったからと言って、野球が上手くなる訳でも無いのですが、とにかくひたすら続けました。そうしていくうちに少しずつ野球での結果が変わってきたのです。野球が上手くなるというのではないのだけれども、対戦相手のホームラン級の打球が風に流されてファウルになったり、自分が打った打球が外野フライに終わってしまう時に風が吹いて、ボールが伸びホームランになったりと、目に見えない不思議な力を感じるようになります。

桑田さんは、「裏の努力を積むことによって、運・ツキ・良縁を身に付けることができる。」とおっしゃっていました。徳を積む、ということです。実力では無いプラスαの部分です。こうした表の努力と裏の努力が、甲子園に出場、優勝という成績を収めることに繋がっていきました。

プロ野球選手になってからも悩むことは多々あったようです。2軍と言えどもすごい選手が沢山いる。「自分なんて・・・」と、プロの世界に入ったことを後悔しました。野球を辞めて、他の仕事を探そうとも考えた。けれどもこれは自分にとっての〈試練〉であると思い直しました。辛く苦しく決して楽なことではないけれど、今は「練習しなさい、鍛錬しなさい。そして試合でその成果を試しなさい。」という時期であって、試練こそ挑戦である、と気が付いたそうです。

学生時代とプロ、メジャーを通してご自身が経験してきたこと、学んだことをあるがままにお話しいただき、貴重なお話を伺うことができました。

また、講演中は聴講者とのやりとりを積極的にされ、桑田さんの問いかけに答えた子供達に色紙を配ったり、質疑応答や、現役時代に使われていたグローブやユニフォームなどに触れることのできる時間を設けるなど、非常に楽しい会となりました。



特別企画 桑田真澄さんインタビュー

講演会前に桑田さんに幾つか質問をさせていただきました！！



Q 1 : 野球をはじめられたきっかけは何でしたか？

A 1 : 父親が野球好きで、子供を野球選手にしたいという夢を持っていたようです。父自身が本当は野球選手になりたかったみたいですが、ある意味子供に夢を託したのでしょう。気が付いたら、野球をやっていました。

Q 2 : お父様の夢でもある野球選手になられた時は、どう思われましたか？

A 2 : 僕自身も野球が好きで好きで、プロ野球選手になることしか考えていなかったですからね。それは、全くぶれることがありませんでした。

Q 3 : 野球選手になるという夢を叶えられた訳ですが、長い競技人生の中で怪我

や、壁にぶつかることもあったのでは無いかと思います。そうした時、どのように向き合い克服されてきたのですか？

A 3 : 壁にぶち当たったり、スランプに陥ったりすると、落ち込みますよね。でも、このままで良いのか？と自問自答するんです。少しでも上に行きたい、また投げたい、勝ちたいって。勝てば楽しいし、また挑戦しようという気持ちになります。その為には、今何が必要なのか？ということ逆算します。そして、その問題を克服するプロセスを楽しむように、僕はしてきました。

Q 4 : 野球を通じて多くの方に出会われたと思いますが、この人に出会っていなければ今の自分は居なかったかもしれない、という方はいますか？

A 4 : 沢山いますね。「俺と一緒に野球をやろう！」と言ってくれた王監督や、父親、小中高時代の監督など。でも、やはり自分の中で一番大きかったのは、清原君と出会えたことですね。自分と余りにも能力が違い過ぎたので。けれども彼と出会って、僕は自分らしさが如何に大事か、ということに気が付くことができました。自分らしさとは何か？そういったことも含め多くのことを彼と出会ったことで学べたんです。

Q 5 : 現在は指導者として活動されていますが、指導者として一番気を付けていること、心掛けていることは何でしょうか？

A 5 : 指導者になるとどうしても口だけになってしまいがちですが、やはり背中を見せることが大事ではないでしょうか。自分が実践しているところを見せるべき。「努力しなさい。」と言うのであれば自分も努力しなければならない。だからプレイも「こうやって取れ、とか、投げなさい。」って口で言うだけではなく、実際に自分で動いて、見せて、そういう指導を心掛けています。技術指導に関しては、言葉とイメージと実際の動き、この3つは指導者にとって非常に大事だと思います。



Q 6 : では、最後の質問とさせていただきます。3月11日に東日本大震災が発生し、東北地方をはじめ多くの地域や人が甚大な被害を受けました。復興にもまだまだ時間が掛かる状況であり、被災地には多くの義援金や物資の支援などが行われています。そうした中で、桑田さんがお考えになるスポーツの持つ力や役割には、どういったものがあると思われますか？

A 6 : 諦めない気持ち、挑戦する気持ちが大事になってくると思います。スポーツ、特に野球は9回2アウト、5対0で負けていたとしても、まだ分からない。

ゲームセットまで、最後の最後まで諦めちゃいけない。これはスポーツを通じて伝えられるメッセージではないでしょうか。

僕もよく、初回4点を取られてしまい「あ〜、もう4対0だ。負けだな。」って思っている、4対5で逆転勝ちした試合も結構あるんです。だから、最後まで絶対に諦めません。負けない、という気持ちと姿勢が大事なのだと思います。

【インタビューを終えて・・・】

講演会前の忙しい時間の合間をぬって、インタビューを快く引き受けて下さいました。

テレビですと拝見していた方だったのでとても緊張しましたが、1つ1つの質問に真剣に答えて下さり、ここにはまだ書き切れないほど、たくさんのお話を伺うことができました。

お話の中で特に印象深かったのは、「常に感謝の気持ちを忘れないということ」でした。一人では野球はできない、取ってくれるキャッチャーや守ってくれる野手がいるから、自分は投げられるのだと。常に試合には、サポートしてくれる仲間、応援してくれるファンの方々、全てのものに「ありがとうございます。」と感謝の気持ちで臨んでいました、というお話です。

インタビューという貴重な時間を作っていただき、本当にありがとうございました。

自宅で簡単に筋力トレーニング 4

第4回目の今回は、^{だいでんさん}大臀筋を取り上げます。^{だいでんさん}大臀筋とは・・・ざぱり、お尻の筋肉です。

キョッと引き締まった小尻を目指して、頑張りましょう！！目標回数は、片足8回ずつを2セットから。

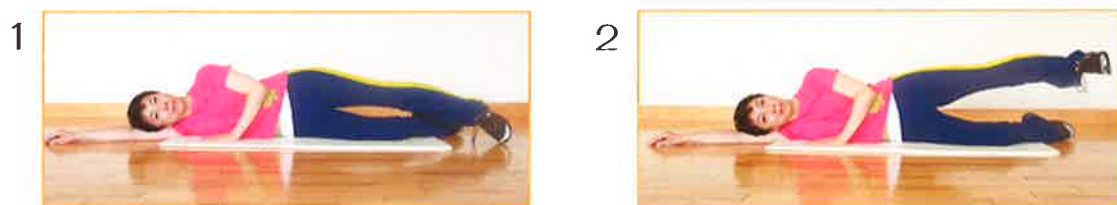
大変な方は、回数を調整しながら、実践してみてください。

「立位」 歯を磨きながら、洗い物をしながら・・・ちょっとした合間でも、実践できる！



1. 椅子や壁に軽く手を添えて、真っ直ぐに立つ。
(バランスを崩さないように、体の支えとなるものを用意)
2. 左右どちらの足からでも良いので、バランスを取りながら軽く片足を上げる。無理に高く上げる必要はない。この時、お尻を意識する。
3. ゆっくりと足の上げ下ろしを行ったら、今度は反対側の足も同じように行う。

「寝位」 立って行うのが大変な方は、横になってもできます。寝る前に、テレビをみながらでもOK！



1. 横向けになる。下の手は頭の上に真っ直ぐにのばす。上の手は、体を軽く支えるように、胸の前におく。下に来る足は、軽く膝を曲げ、上の足は、真っ直ぐに伸ばす。
これが、準備の姿勢。

2. 上側の足を、ゆっくりと上げていく。無理に高くする必要はない。立位同様、鍛えたいお尻周辺を意識して行うこと。
片側が終わったら、反対側を向き、同じように行う。

監修：健康運動実践指導者（静岡市体育協会 統括主任インストラクター）高尾広子

クレ射撃って何だろう???

・クレ射撃とは、皆さんがご存じのように「てっぼう」で「お皿」を撃つ競技です。

一般的に「銃」に対しては、危険なものといったマイナスイメージを抱く方が多く、現在、若い人の「銃」所持の意識が減少しています。しかし、クレ射撃とは国際ルールに基づく国際大会、近代オリンピックにも取り入れられている国際競技なのです。

「銃」の発展、進化は生活の為の『狩猟』から始まったと思われそうですが、それがいつしか人間同士が戦い合う凶器となってしまったことも、余り良いイメージを持たれない理由の1つであろうと思います。

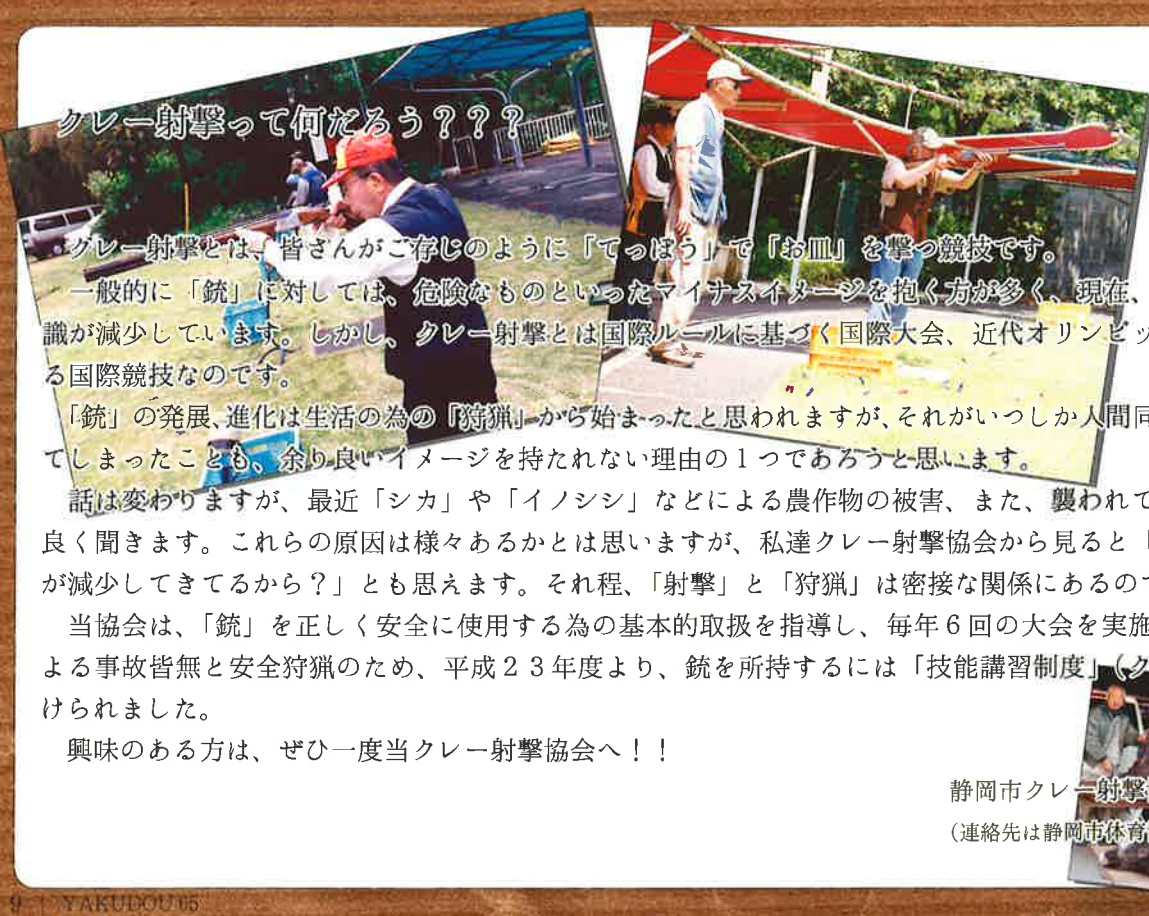
話は変わりますが、最近「シカ」や「イノシシ」などによる農作物の被害、また、襲われて怪我をした、なんて話を良く聞きます。これらの原因は様々あるかとは思いますが、私達クレ射撃協会から見ると「クレ射撃を始める若者が減少してきているから？」とも思えます。それ程、「射撃」と「狩猟」は密接な関係にあるのです。

当協会は、「銃」を正しく安全に使用する為の基本的取扱を指導し、毎年6回の大会を実施しています。また、銃による事故皆無と安全狩猟のため、平成23年度より、銃を所持するには「技能講習制度」(クレ射撃協会後援)が設けられました。

興味のある方は、ぜひ一度当クレ射撃協会へ！！

静岡市クレ射撃協会 会長 渡辺武利
(連絡先は静岡市体育協会にお問い合わせください。)

加盟団体情報
vol. 1



【静岡市なぎなた連盟】

平成23年10月15日～18日に熊本で行われた「ねりんピック2011熊本 なぎなた交流大会」で団体戦準優勝という成績をおさめました。

〈メンバー〉

監督：太田久枝

先鋒：岡村喜美 5段

中堅：市川英子 4段

大将：福地由紀子 3段



左から市川、太田、岡村、福地（敬称略）



試合の様子

【静岡市体操協会】

《 鈴木涼功（水鳥体操館）・三輪哲平（清水ペガサス体操クラブ） 》

平成23年11月26日～27日に草薙総合体育館（静岡市）で「第6回全国ブロック選抜（U-12）体操競技選手権大会」が開催されました。

鈴木君は個人総合優勝（つり輪1位、平行棒1位、鉄棒1位）、三輪君は個人総合6位入賞（あん馬3位、平行棒2位）、の成績をおさめました。

三輪君は、「2011全日本ジュニア体操競技選手権大会」（平成23年8月12日 横浜文化体育館開催）でBクラス個人総合優勝し、平成23年度（財）静岡市体育協会 優秀選手章（賞詞）を受賞しています。



三輪哲平選手



鈴木涼功選手



池ヶ谷晴香選手

《 池ヶ谷晴香（アンジュ） 》

「第9回全日本新体操ユースチャンピオンシップで個人総合優勝」「第5回シニア・第12回ジュニアアジア新体操選手権大会」では国別対抗、ジュニア種目別（フープ）共に銅メダルを獲得しました。

平成23年度 日本オリンピック委員会オリンピック強化指定選手、オリンピック有望選手にそれぞれ認定されました。

【静岡市トランポリン協会】

《 海野大透 》

平成23年9月9日～11日、掛川市の『さんりーな』にて開催された「第39回西日本トランポリン競技選手権大会」に出場、小学生高学年男子第2位の成績をおさめました。

《 原崎仁平・市川隆太 》

バーミンガムで開催された「第21回世界年齢別大会」（平成23年11月23日～26日）に両選手が出場しました。15～16歳男子で原崎仁平君が、13歳～14歳男子で市川隆太君がそれぞれ個人11位と健闘しました。

市川君については、平成24年3月8日～15日にバンコクで開催される、「第12回アジアジュニア選手権大会」に出場することが決定しています。

なお、両選手は、平成23年度（財）静岡市体育協会 優秀選手章を受賞しました。



（上・下）長田体育館での練習風景

加盟団体情報
vol. 2

加盟団体情報
vol. 8

【静岡市相撲連盟】

平成24年度から中学校での武道教育が必修となります。当協会の相撲もその1つです。
協会では、静岡市内在住の幼児、小学生、中学生を対象に相撲教室を開催しています。
興味のある方は、ぜひお問い合わせください！

期 間：平成24年4月11日～10月27日

毎週水・土曜日の18時00分～20時00分

会 場：八幡神社 相撲場

問合せ：宮城 智（連絡先は静岡市体育協会にお問い合わせください。）



相撲教室の練習風景



《 山中未久 》

平成23年10月2日、西予市乙亥の里乙亥会館（愛媛県）にて「第16回全日本女子相撲選手権大会」が開催されました。山中さんは中量級で見事優勝し、これは昨年に続き2年連続となります。

また、平成23年度（財）静岡市体育協会 優秀選手章も受賞しました。

【静岡市ダンススポーツ連盟】

平成14年より、ダンスうんどうで著名な小林英夫先生をお迎えして「子どもたちのための・・・ダンスうんどう」講座を開催しています。1日2時間、全部で6回のコースとなっています。

今年度は、平成23年12月24日から始めて、1月に3回、2月に2回開催しています。

この講座をきっかけに、ジュニアダンススポーツクラブでダンススポーツを楽しむ子ども達が増え、全国で活躍する選手も出てきました。

また、毎年ダンススポーツ大会を開催していますが、平成21年からは清水ライオンズクラブの支援を受けてジュニア部門の競技も開催するようになりました。

平成24年3月18日、清水総合運動場体育館にて「第4回清水ライオンズ杯プレジュニア大会」を開催します。昨年は約60組のジュニア選手が出場しました。

平成24年7月22日にはグランシップ（静岡市）で、19回目の開催となる全国大会「2012ダンススポーツグランプリ IN 静岡」を開催します。



昨年のプレジュニア大会の様子



【編集後記】

各競技団体の皆様及び事務局の多大なるご協力により、第65号「躍動」が発刊できましたこと、心より感謝申し上げます。
今号には、長年にわたり体育協会の各分野において、スポーツ競技の発展に功労・功績があり、平成23年度体育協会表彰を受賞された個人及び団体をご紹介しますとともに、最後まで諦めない気持ちの大切さを伝えてくれた元プロ野球選手でメジャーリーグでも活躍された桑田真澄さんの講演会を特集しました。

今後「躍動」も更なるスポーツ振興の普及に貢献していきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

調査広報委員 鈴木健一・佐田唯幸